

会 議 録

1 会議名

第11回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- ・ 柿崎区地域協議会長の選任について
- ・ 自主的に審議する事項の提案について
- ・ 「柿崎区保育園にかかる課題と今後について」を検討する委員の選出について

(2) 報告事項（公開）

- ・ 地域の交通を考える会からの報告

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成30年2月20日（火）午後2時から3時36分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小出優子(副会長)、薄波清美、加藤満、金子正一、白井一夫、高野武夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄
- ・ 事 務 局：柿崎区総合事務所 南博幸所長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、古屋靖夫建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主

任(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【風巻G長】

- ・会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・地方自治法第202条の6第5項の規定に基づき副会長が議長の職務を代行する旨を説明

【小出副会長】

- ・副会長挨拶
- ・会議録署名委員に加藤委員を指名

【小出副会長】

協議事項(1)「柿崎区地域協議会会長の選任について」に入る。

長井委員から辞職願が提出され、1月23日付けで辞職が承認されたので、会長が不在となっている。

そのため今日は、地方自治法第二百二条の六「地域協議会に会長及び副会長を置く」、上越市地域自治区の設置に関する条例第六条「地域協議会の会長及び副会長は、それぞれの地域協議会の会議において委員のうちから選任し、又は解任する」と規定されているので、柿崎区地域協議会の会長の選任を行いたいと思う。

会長の選任方法について、いかがするか。

【金子委員】

先日、地域協議会とは違うが、全員協議会の中で、長井前会長が病気のため辞職されたということで、副会長の小出さんから会長を継いでいただくことに賛成が多く、本人もその意思を表明されていた。ここで小出さんが「私で意義ありませんか」と皆さんに問えば、それですんなり決まるのではないかと思う。

【小出副会長】

前回の全員協議会の折に、皆さんからそういう言葉をいただき、今、金子さんから説明いただいたとおりであるが。

では、私でよろしいか。

【各委員】

・「はい」の声

【小出会長】

ふつつかですが、よろしく申し上げます。

それでは、副会長が欠員となるので、これから副会長の選任を行いたいと思うが、どのように選任したらよいか意見を伺いたい。

【金子委員】

今日は3名の方が欠席で12名である。推薦と言う方法もあると思うが、やはり12名それぞれの意思表示もある。立候補される方がいればそれを諮るべきだと思うし、立候補者がいなかった場合は推薦より投票の方が望ましいと思う。

【小出会長】

副会長の任期はあと2年であるが「やってみよう」という方がおられたら立候補をお願いする。

・各委員から特に声はなし

金子委員からは、推薦より投票の方がよいのではないかとの意見が出されたが、いかがするか。

【薄波委員】

特に意義はないが、もし投票にすればその中で一番数の多い人を当選とするのか、または上位2人で決選投票をするのか。

【小出会長】

今、薄波委員からは、1回で一番票数の多い人を副会長にする方法と、上位2人を先ずは選んで、その2人で決選投票する方法とがあるとの意見が出ている。

皆さんの意見はどうか。

【金子委員】

投票も1回で決める方法もあれば、上位2人で決める方法もあるので、採決しても良いのではないか。

【小出会長】

では、その2つで挙手をいただき、どちらかにすることでよいか。

- ・各委員から「はい」の声

では、1回の投票で一番票数の多い方に副会長をやっていただく方法がよいと思われる方、挙手を願う。

- ・過半数以上の委員の賛成を確認

では1回の投票をお願いします。

それぞれでこの方はという人の名前を書いて投票をお願いします。

『 投票及び開票作業 』

【唐澤班長】

投票結果がまとまったので発表させていただく。

薄波委員1票、金子委員4票、新部委員1票、榆井委員1票、吉井委員2票、渡邊委員3票、この様な結果となった。

【小出会長】

では、金子委員に副会長をお願いする。

【金子副会長】

私はそういう所に立てる技量もないが、今回は長井前会長が大病を患っての突発的な辞任という、いわゆる緊急事態なので、2年2か月の残任期間は自分の持っている力の中で何とか務めさせていただきたいと思うので、皆様のご指導ご協力の程、よろしくをお願いしたい。

【小出会長】

次に、自主的に審議する事項の提案「道の駅柿崎の設置について」、渡邊委員から説明をお願いする。

【渡邊委員】

提案説明に入る前に、なぜ道の駅柿崎を提案したいのか、そこに至った私の気持ちを述べたい。

平成10年頃の柿崎の地図を見ると、柿崎の中心部に商店が140店舗あった。そして、その地域で1つの商業圏を成し、活気があり賑わいもあった。しかし、今の状況を見ると、商店の数は櫛の歯が欠けるように無くなり、今現在は柿崎地内に20件に満たないくらいに減少してしまった。街の真ん中に住みながら買い物に困るというお年寄りが現実におられる。

この寂れた原因の1つに、個人商店は次の代に継承しなければならず、そこに後継者問題もあるが、私が捉えるもっと大きな問題は、この街をどのように活性化するか、人の賑わいを創出するかといった取り組みの不足があったのではないかと思う。

また、街で聞く話には行政が何もやってくれないからこの街が寂れたと言う人がいるが、私はその意見は全く違っていると思う。この街に住んでいる人が真剣に自分の街を何とかしなければならぬと考え、具体的な行動を起こさない限りその寂れる形は変わって行かないと思う。

そして、街の風潮で悪い部分だが、誰かが何か新しいことを始めようと提案するとあれこれと注文が付きその意見がつぶされ、声を発した人もその後は何も声

を挙げなくなってしまう。そんな風潮がこの街の中にあるのも1つの原因ではないかと思う。

私は非力だ。だからここで出した内容について皆さんから真剣に考えていただき、皆さんの知恵を集め何とか柿崎のゴーストタウン化に歯止めを掛けたいと思っている。皆さんの知恵を拝借しながら、良い悪いという判断が先にあると思うが、その考え方にこれを付け加えたらよいのではないか、そんな声を聞かせていただきたいと思い提案させていただいた。

・以下資料に基づき提案内容の説明

提案内容に記載を落としてしまったが、国道8号と高速道インターに近い場所に生活されている住民の、災害発生時の応急避難場所に設定できると考えている。

道の駅柿崎の設置については私1人で考えたというよりも、あちこちで柿崎の活性化の話をした時に何かどこかで始めないとこの街は変わらないとの話がありこうなった。

この件に関しては、地域協議会委員の賛同を得た上で、総合事務所の知恵を借り、地元選出の県議会議員、市議会議員、まちづくり振興会や観光協会、町内会長会、商工会、漁業組合、柿崎を食べる会などに働き掛け、柿崎地域住民全体の意見として具体的な構想をまとめた上で、市長に提案書を提出する方向で進めて行けたらと思う。

【小出会長】

渡邊委員の方で自主的に車の通行量を計測したり、資料を集めて、道の駅とは何かという補助的な資料もいただいた。

その中で基準としては主要幹線道路で、かつ1日5千台以上の交通量があることなどと色々ある。

【薄波委員】

資料の中に道の駅の設置間隔ということで、概ね10キロから20キロ程度の間隔が理想的であるとなっている。吉川も道の駅があり、そこの間隔で問題は

ないのか。個々のケースで検討ともあるが。

【小出会長】

歴史的な背景で、柿崎に道の駅を造ろうとしたが、柿崎があまり熱心でなかったのか何かで、吉川に譲ったと聞いた様な気がする。

【南所長】

正確な事は私も分からない。これは国土交通省の関係事業なのでどんな判断をされるか分からないが、ある程度の距離、ある程度の区域、交通量などを勘案して造るものではないのか。他の事例を見た中においては、今は吉川に有り、この近距離ではたしてできるかどうか疑問がある。ただ、市の立場としてできるとかできないとかは、はっきりと言えない。

【金子副会長】

地域に元気がないということで、地域をいかに元気にするかの提案であり、非常に壮大な計画だと思う。

上越市には道の駅は、今話に出た「よしかわ杜氏の里」のほか、「うみてらす名立」、「ふるさとやすづか」と3つある。一億創成事業でやったのか、元々既存の施設があって、そこに吉川の場合は酒蔵や直売所などの店ができた。

何れにしてもこれは壮大な計画であり、先程の説明に県議など政治の力もあつたので、ある程度の下地というか動きがあるのかどうか伺いたい。

【渡邊委員】

提案者の立場としては、地域協議会の皆さんに話をする前に、他で十分に協議ができていて、そういう環境ができていますというのではなく、これは地域協議会の場に提案して、皆さんから先に賛同を得た上で輪を広げていくことと考える。

それなので県議会議員や市議会議員という人達は、政治的に利用というよりも色々な立場でアイデアをいただけることや相談をしていけるのではないかと考える。

地元の人達は、この地に何かを設ける際に「これはもっとうしたら良くなる

のではないか」などの意見を聞いていくうえで入れたい。住民全員の思いを総合事務所からも色々知恵をいただきながら進めて行けば、地域全体の拠点造りに繋がっていくのではないかと思う。

【金子副会長】

これには委員会とか部会を構成したいという思いがあると思うが、今は地域の交通を考える会があり、これからは保育園の在り方を考える委員会が立ち上がってくる訳だ。それとは別にもう1つこの専門の委員会か部会を立ち上げていきたいという意向だと思う。全体の中でこれをもんでいくには無理もあるし、その辺はどう考えているか。

【渡邊委員】

私としては、この地域協議会の中に道の駅設置を推進する1つの部会的なものを希望する。他の地域の色々な団体などに話を掛けることにもなるし、やはりこの部会の中でどういう方向で進むか、地域の人達に入っていただく方策もあるし、私の提案した内容では足りないからもう少しこの部分を補足するなど。一度その方向性が決まれば、その後部会の中でもう少し検討しながら進めて行ければと考えている。

【白井委員】

柿崎に活気がないのは分かる。元問屋さんも廃業されたし中村薬局さんも廃業され、どんどん商売を辞めておられる方が出てきている訳だが、これをやるからにはやはり商工会を巻き込まないといけない。何億か、いくら金が掛かるか分からないが、その中心になるのはやはり商工会なり観光協会で、それを巻き込まなければならぬと思う。その時に、それだけの余裕を持ち、威力のある方がおられるかどうか、それが心配だ。

【吉井委員】

昨年射水市に視察に行った時に、射水市の推進に取り組んでおられる明石さんが、若い時に道の駅を色々企画している会社にいたと言われていた。

道の駅をやるとなると、やはりそういう専門家というか会社が、ある程度の計画を持って、ここに造ったら収支的にいけるのかどうかを考え、それから立ち上げ、計画書に基づいて起案のあったところに地域協議会が賛同して提案書を出すというのが筋で、それだったら行けると思う。やはり、これだけの提案を地域協議会のメンバーで委員会を作ってやるレベルではないと思う。まずはベースがあって行けるのかどうかというものがない限り、地域協議会だけで動き始めるのは難しいのではないかと思う。

【新部委員】

大変おもしろい提案というか素晴らしい提案というか、興味がある。

今日いただいた国土交通省の資料の中に「設置者である市町村（申請者）が道路管理者を経由して、建設省に登録申請書を提出のうえ登録される」とある。ということは、市を巻き込んで行政も一緒になって進めなければならない。過去の市町村合併前に、合併前上越市のどこかでこれをやられたことはあるか。

今の渡邊委員の提案を受けて盛り上がり、市が分かったとすると、渡邊委員の描かれた絵の場所に公共事業用地は無いと思うが、全て用地買収から入って行かなければならなく壮大な費用が掛かると思う。そうなると、規模が大き過ぎて地域協議会だけで取り組めるレベルではない。市役所の中にそのプロ的な方がおられるかどうか定かでないが、どこから始めたらよいのか、その辺を指導して下さる方を見つけることから手を付けなければならない。

ここに一步踏み込む前の準備を行政で指導してくれるものか。

【南所長】

道の駅構想は、色々な大企業が入ったりデベロッパーが入ったり、立地の場所、将来性等々、十分に考えて事業化するのではないのか。事業が表面にでるまでにかなりの時間が掛かるのではないか。市とか国というよりも、あくまでも認可の話、橋渡しの話であり、実際は民間の皆さんが調整する、造る、営業するということになってくるので、その辺の話から先ずは進めて行かないと難しいと思う。

国の認可を受ける訳なので、とりあえず道路の脇に造ればよいということではない。そこの発展性であるとか、例えば新井に道の駅ができた時にも、あそこは

何も無い所であったが、高速道路と隣接する、18号線の改良、将来性など十分に検討した結果で開発されたのではないか。かなりの時間が掛かるのではないかと考える。

指導するという点については、行政だけでは無理であり、専門家なりコンサルタントなど十分な経験のある所が入らないと、中々難しいのではないかと考える。

【新部委員】

例えば、地域協議会がここで議論して「いいじゃないか、活性化のためにいいね、是非これを誘致しよう」と決め、その事を意見書として市長に提出しても通用しませんね。市に迷惑を掛けるだけになってしまうからまずいですよね。

【南所長】

今、新部委員が言われたとおりである。

そもそもの部分で、地域協議会の審議する事項は皆さんご存知のとおり2つある。市から諮問された事に対して皆さんの方で答申をすることが1つ。もう1つは自主的審議事項で、地域自治区の区域内の課題について自主的な審議を行うということである。保育園の関係だとか、斎場の関係、それから公共交通の関係など、今、地域の課題ということで審議をさせていただいている。それが地域協議会の職務となっている。

この道の駅の関係でいうと、すばらしいアイデアだと思うが、道の駅柿崎を造るということはあくまでも手段というふうに私は考える。先程話した地域自治区の区域内の課題、まずはそれを整理した上で、そして地域の皆さんが「であれば道の駅が必要だ」となれば皆さんで審議していただきたいと思う。しかし手段が先になってしまうと中々整理が難しいと思う。地域の活性化、起爆剤が必要だということは分かるが、それが何で道の駅なのか。その繋がり、整理、ロジックが必要だと思うので、地域協議会の中で議論されるのであれば、まずは地域の振興から考えていただくのであろうと思う。それが今行っていた公共関係の関係だと思いが、その1つとして道の駅が出てくれば問題はない。

地域協議会が与えられている権限の中で動くとするならば、今私が話した課題の整理からお願いできればと思う。

【渡邊委員】

私が提案した内容を今日採決してくれという話ではない。射水市へ視察に行った時に明石代表から「地域の活性化の拠点に道の駅は有効ですよ」という話を聞いたことも、私が考えている道の駅構想に火を付けてこの様な形になっている状況でもある。

課題の整理という部分であると、地域の公共交通を考えるテーマ、あるいは、保育園の問題、個別の1つ1つの課題だと思う。地域の公共交通を考える会で最後に導き出す答えが道の駅に行き付くかということ、必ずしもその行き先がそこに行くとは限らないと思う。地域の公共交通は、買い物弱者とか病院に通うことのできない人達の足を確保する目的の部分であると思うし、その部分は洗い出して課題にどういうふうに設定していくかという事は整理をする必要があると思う。

地域の声を1つにまとめながらという事も地域活性化の1つになると思う。色々な人から知恵を拝借したり、行政のアドバイスを受けてりしながら進めたいと考えている。早急にこれを採択して市長に意見書を提出するというつもりはない。色々な角度から考えていただければという思いでの今日の提案である。そのところよろしくお願ひしたい。

【小出会長】

渡邊委員の気持ちとしては地域を何とかしたいとか元気にしたいとか活性化したいという中で色々考えて今回提案されていると感じている。

地域の交通を考える会が立ち上がっているが、それは公共交通だけではなく地域使いというか、この地域をどうしたら元気にしていけるのかという交通を考える非常に大きなファクターだと思う。例えば土日に水野までバスが走っていないというのは観光に来てくれとは言わない様な感じになっている。地域を元気にしようとして交通の面から考えると「ここに道の駅があったら良いのに」という意見が出て来るのかと渡邊委員の話を聞いて感じた。

そして、今日これを採択とかどうするかということではなく、継続的に地域を元気にするエッセンスとして道の駅を常に意識して考えて行ければ良いのかと思った。

新部委員や吉井委員からも話が出たし、南所長からも説明していただいたが、

道の駅と限定してしまうと大きな事なので、とりあえず地域を活性化したい、地域を元気にするという取り組みの1つとして常に念頭に置き、継続的に皆さんで考えていく形でいかがか。

自主的に審議する事項として提案されているが、これを却下するかどうかなど取り扱いを確認しなければならないのか。いかがするか。

【榆井委員】

この街を何とかする起爆剤として、到底駄目だからみたいな取り組み方は何とか避けて皆で色々な事を考えていきたいと思うが、内容が莫大なお金の掛かる話だし、色々な段取りの難しさを考えると現実的に何から手を付けてよいのか分からない様な感じだ。

でもやはり賛同者を巻き込む、これだとNPOとか色々な人達に協力してもらわないと進まない話だと思うので、渡邊委員がこれだけきちんとまとめてくれたので、ここの地域協議会に限定ではなく、もう少し時間を掛けて賛同してくれる方を集めるなど、もう少し時間が必要だという気がする。

何かを提案していかないと何も前に進んで行かないという部分もあるので、大変ありがたい意見だと思った。

【高野委員】

私も商売させてもらっているので、できたらあった方がよい。

先行き長い道のりで難しい選択になると思うが、できたら一步ずつ前に進んで行きたいと思っている。

【金子委員】

非常に壮大なプランで夢のあるアイデアですばらしいと思う。

今3年連続で地域住民との懇談会で地域へ出向き、住民の色々な意見を聞いている。

これも長期的な視野で見なければならぬ取り組みだと思うので、まちづくり団体との意見交換で、こういうふうにして柿崎を盛り上げていきたいのだがという形を作っていくのも1つの手法だと思う。

【渡邊委員】

私としては来年の6月に提出できるように、そして登録に承認する時点では相当こちらの構想が固まっていて、市によい考えだと思っただけの段階にまでなっていて報告書に挙げたいと考えている。何で来年かと言うと、再来年私は地域協議会の任期が終わるので、発案者としては任期の内にきちんとした方向性を出しておきたい。

先程の話で他の団体の皆さん、商工会や中山間地域で一生懸命に特産品を作っておられる人達にも聞いて「そこへ我々も少しは出資して、是非施設を共同で造ろう。そこには魚も野菜も地元特産品もお土産も置いて」と、そこまで話が進んでいかないと、報告書に挙げる段階にまでならないと思う。

よって、保留ではなく皆さんの承認をいただいて、街の人達の声も聴く様なことをできれば始めていけないかと思う。

【南所長】

繰り返しになるが、地域協議会の権限というか与えられた職務は、先程話したとおり地域にどういう課題があるのかをまず認識していただき、ではそれを解決するのにどうしたらよいのかをここで審議していただく。その審議の経過として地域住民の声も聴く。それでそれをまとめた段階で意見書として市長に提案するということになる。

今渡邊委員の言われた、ここで賛同を得て一般の皆さんとも共有したいということになると、地域協議会として馴染まないと思う。市民活動としてなら何ら問題はないし、活動の輪を広げていくことは必要でよいことだと思うが、地域協議会で賛同を得て外へ出たとすれば、道の駅を造るという方向で地域協議会が決議して動いていくことになる。

繰り返しになるが、地域の活性化策として議論に議論を重ね、その結果として道の駅だという結論にたどり着いた時には問題はないが、これから活動されて行く時に、ここで賛同を得て外へ出て行くといった考え方に私としては非常に違和感がある。

渡邊さんが一市民として活動されることはよいことだと思うし、そういう活動も柿崎の活性化策になると思うが、地域協議会として委員としてといった時には

違う所もある。ここで議論したことを持って行くのであればよいのだが。そもそも職務をご理解いただく中で考えていただきたい。

【小出会長】

地域協議会としては、地域の課題を整理することが第一段階にあつて、そのために団体や地域住民の意見を聞き意見交換をする。その中で課題が整理されていき、活性化策ということで道の駅が提案されるのはよいが、初めに道の駅ありきで色々な事をやっていくのは順序が違うのではないかということですね。

私達が熱く語り合つて地域の課題を整理し、活性化策としてこれしかないというものがあつたらぶつけていってよいと思う。富山の明石さんの話を聞くと奥さんも吉川の道の駅を造る時には関わっていたと言われていたので、長年やっておられて道の駅の有効性とかを語られたと思う。

地域を元気にしたい気持ちは委員皆さん持つておられるし、何とかしたいという渡邊委員の熱い気持ちはよく分かる。

最初から駄目だからと言って提案しないのではなく、皆で熱く夢を語り未来を描くのも地域協議会には必要ではないかと思う。10年先、100年先を見て今を考えることができるのが地域協議会だと思っている。

渡邊委員、この件は却下とか否決・可決ではなく、継続審議ではどうか。

【渡邊委員】

継続審議になれば嫌だとかではなく、地域の課題というのは過疎化することを防止しようとか商業が衰退していくのを防止しようとか、そちらの意味が強いと思う。

そこは地域協議会の皆さんの話もあるだろうし行政の方の色々なアドバイスもあるだろう。現実に隣の区に道の駅がある。今なら新井・柿崎線に5千台も車は通らないと思うし、今の基準で言えばあそこは認定される条件が足りないということになったかもしれない。

それはそれとして、協議会としての方向はもう少しこのことを皆さんで検討していただく時間を、猶予を、今の話でない部分で続けて行ってほしいと思う。

【小出会長】

今、渡邊委員から希望が出たが、この件はもう少し検討を続けることでよいか。

- ・特に異論はなし

【小出会長】

異論がないようなので、次に移らせていただく。

「柿崎区保育園にかかる課題と今後についての検討委員会の選出について」
仮称みんなの保育園を考える会という名前で委員を募りたいと思う。是非この保育園の課題について考えたいという方は挙手願いたい。

今は見当たらないようで、今日は休んでおられる委員も多いので、次回までにこちらの方で決めさせていただいて良いか。

【金子副会長】

その前に、今8名で地域の交通を考える会が構成されていて、残る7名の方が委員会に属していないので、その辺にある程度ウエイトを置いた選考で良いか皆さんに諮っていただきたい。

【小出会長】

では、それを含めての選考でよろしいか。

- ・特に意見なし

【小出会長】

意見がない様なので、そうさせていただく。

次に、5番の報告事項に入る。

地域の交通を考える会からの報告、吉井委員よろしく願います。

【吉井委員】

現在までに2回の委員会が終了している。第1回は12月19日、第2回は1

月24日だった。

第1回は委員長と副委員長を選出して、今後の課題について話をした。その委員会で私が委員長に、新部委員が副委員長に決定された。

第2回については、資料に掲げた内容の討議を行った。

- ・以降、資料を基に内容を説明

次回までの調査事項に記載されていることは、本日、新幹線・交通政策課へ行って調べてきた。また、乗降調査も委員で分担して行った。その内容については、別の機会に報告する。

【小出会長】

私も乗降調査を行った。水野は途中からデマンドバスになっている。

吉川は、土日も走っているバスがある。また尾神岳の細い道を登って行くバスに乗ってみたが、吉川小学校の前で小学生が3人乗車するのを迎えに行ってから総合事務所の前のバス停まで戻り通常のルートをとどって、尾神まで行った。こんなに細い道を「大変ですね」と言った。

吉川が土日も走っていて、水野線は土日になると走らない。米山に登る人は柿崎駅に降り立ったら米山に登れない。この面からも、もう少し柿崎の交通を考えた方がよいと、乗ってみて分かった事だ。

今日も有意義な研修であった。皆さんの企画力・提案力に期待したいと思う。

【小出会長】

特に質問・意見がないようなので、6番のその他に入りたい。

【新部委員】

その他に入る前に、行政に少々尋ねたい事がある。

旭町の除雪が中々進んでいない状況で、先日来た時と今日来た時で全く変わっていない。排雪がされていない。何が原因でこうなっているのか。

【古屋G長】

県道なのではっきりとした事は言えないが、1度楡井県議の方で地域整備部に依頼され排雪されるという話を聞いた。その時は小型ロータリーで幅取りをされた。県の方にその後の排雪計画を聞いてみたが、落ち着いたら順次実施するとの回答で、今の所はまだ実施されていない。そんな状況である。

【新部委員】

今は緊急車両が通るにも雪がいっぱい、事故が起きてもおかしくない。それぞれの店の木戸先で厚い雪の壁の間から顔を出しただけでもヒヤッとするのに、なぜ放っておくのかという感じがする。行政として市として県議に任せるばかりではなく、県に所長の立場としてやるべきだと思う。

市町村合併前の柿崎町の時には土木事務所に話をし、除雪して夜排雪してもらった事が何度かあるが、そんな部分で汗をかいていただき事故が起こる前にやっていたら市民の皆さんも喜ぶと思う。

市道は大変ありがたく、昨日も百木にピーターが入り幅取りをしていただき本当に皆さん喜んでいる。柿崎から外れて吉川へ向かう線もロータリーが入ってきちんとなっているのに、街内がこれではよくない。吉川区の街中は綺麗だ。柿崎の中だけ何でこんなに意地悪されているのかと思うので、今日私も県議にまた言うつもりだ。

【古屋G長】

楡井県議から所長の方に排雪に入るとの旨連絡があったことは間違いではない。そこで私も現場に行ってきたが、結局その後はロータリーしか入らなかった。そこで県に再度確認したら、楡井県議から話があって、土木事務所は排雪ではなく幅取りをしますと回答したとのことであった。

また、吉川に比べてという事だが、ロータリーで飛ばせるから幅取りをしてくれるので、旭町の所はロータリーを入れても幅取りはできないと思う。だから排雪ということになるし、排雪となると当然バックフォアを入れてダンプに積み込むことになるので結構大掛かりな作業になると思う。そういう事情は私も分かるが、再度私の方からも地元でそんな声があると県に申し出をしておく。

【吉井委員】

今回の大雪にもかかわらず、下黒川地区とか黒川地区は除雪が十分に行き届いていると感じている。本当にありがとうございます。

【小出会長】

ではその他に入る。

- ・第12回柿崎区地域協議会の開催日について
日 時：平成30年3月20日(火) 午後2時から
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階会議室
- ・「まちづくりフォーラム」について、事務局より説明
- ・「地域活動フォーラム」について、事務局より説明

【小出副会長】

- ・閉会を宣言

(午後3時36分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。